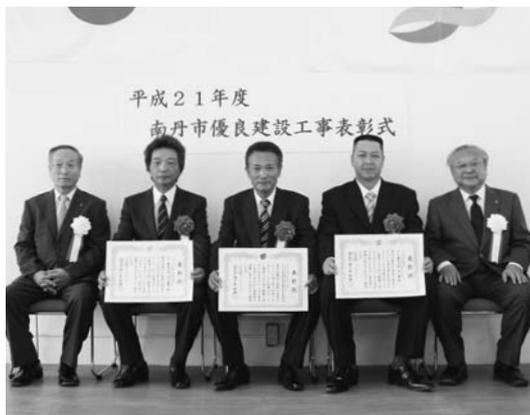


## 他の模範となる工事たたる 施工能力の向上につなげる

―南丹市優良建設工事表彰―

市が発注した建設工事のうち、平成20年度にしゅん工し、他の模範となる優れた工事を施工した優良施工者に対し、9月17日に南丹市から表彰状を授与しました。工事成績評定点が表彰基準を満たし、他の模範となる優れた工事を施工したのは、株式会社大建、南丹開発経常建設共同企業体（代表者有限会社坂本組）、株式会社水口建設の3業者。それぞれ市道の改良工事や土地区画整理事業における宅地整地を、苦情・トラブルなく、良質に施工されました。



▲理事者と優良施工者(中央の3者)で記念撮影



▲10月1日、街頭啓発で協力を呼びかけました

## 自分の町を良くする仕組み その温かさ、わが町のため

―赤い羽根共同募金運動―

今年で63回目となる「赤い羽根共同募金運動」が、10月1日から12月31日まで全国一斉に実施されています。南丹市でも10月1日に市内8カ所で街頭啓発を実施。集まった寄付金の約70%が、次年度に京都府共同募金会から各市町村に分配されます。南丹市共同募金会では、この寄付金を子どもの健全育成や児童・生徒の福祉教育活動、ボランティア活動への支援、福祉団体への活動支援、災害の準備金などに活用しています。

## 市民協働でにぎわいを創出 まちの活性化は住民の願い

―にぎわいコンソーシアム園部  
設立総会―

市民・事業者・行政が連携して、園部の中心市街地のにぎわいをプロデュースする「にぎわいコンソーシアム園部」が、10月5日に設立総会を開催。今年1月に地元住民団体、南丹市商工会、南丹市で設立準備会を発足以来、組織化に向けて検討。今後は高橋一宏氏を代表に、総合的、持続的な体制確立のため、NPO法人（特定非営利活動法人）格の取得を目指し、現状把握と課題抽出からまちの活性化に取り組みられます。



▲園部町本町の合羽家旅館で行われた設立総会



▲異業種が連携して京都新光悦村の活気づくりをスタート

## 新光悦村の発展に意志統一

―京都新光悦村の会設立総会―

10月5日、新産業拠点として園部町瓜生野に形成が進められている京都新光悦村で、立地企業らによる交流組織「京都新光悦村の会」が設立されました。マルホ発條工業株式会社の竹内昌宏取締役技術部長を会長に、会員は立地企業7者と、立地表明している3者を準会員として合計10団体。新光悦村の活気づくりのため、異業種間での情報交換や親睦交流を目的とされています。10月31日には「南丹ものづくりの祭典」とあわせた村開き式典が行われました。